

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	デッサン基礎1	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	マンガ・アニメーション科四年制	コース名	なし	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	90時間
単位数	3単位	授業形態	実習		
教科書/教材	クロッキー帳、鉛筆、練り消しゴム。参考書・参考資料等は授業中に指示する				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	加藤 正	実務経験の有無・職種	有・版画家		
<b>学習目的</b>					
デッサンの基礎をマスターすることにより、自分のイメージをより明確に表現できるようになることが学習の目的である。デッサンは、対象物を見て考え手を動かす作業であるが、これによって次第に集中力と観察力、それに忍耐力も培われる。それらがこれからのイラストやマンガ、アニメ作品等の創作や制作活動に活かされる礎となる。					
<b>到達目標</b>					
デッサンの基本的要素(構図、明暗の階調、質感、量感、遠近感など)を理解する。自分の感性を素直に表現できる描写力を身につけ、今後の制作に最大限に活かせるようになる。遠近法の理解を深めて作品に反映させることができる。自分の絵を客観的に見られるようにするとともに、ものを見る力、観察眼を養うことで同様に自身の作品に反映させることができるようになる。					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	前期は鉛筆でのデッサン実技が授業の主体になる。これまでデッサンの経験の有無は個人差があるため、描き易いモチーフから授業を進めていく。一つの課題が終わるごとに課題作品を講評する。他者の作品と比べることにより、自分の絵のくせや個性を発見できる。描く速度を向上させるために各授業毎に人物クロッキーを5分×2回実施する。				
注意点	授業開始時に実技のポイントなどを説明するので遅刻厳禁。10分以上の遅刻は欠席となるので注意。クロッキー帳、鉛筆、練り消しゴムは毎回持参すること。課題作品はできるだけ授業時間内で仕上げるように留意すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題を提出していても不合格となる。定期試験も受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	90%	課題作品の評価		
	小テスト	%			
	レポート	%			
	成果発表 (口頭・実技)	%			
	平常点	10%	授業参加度、授業態度によって評価する		
<b>授業計画（1回～15回）</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	ガイダンス、鉛筆での明暗の階調	デッサンをする上での道具や用具の使い方について理解する			
2回	幾何形体(多面体)を描く	基本的なデッサンのプロセスを理解する			
3回	幾何形体(球、円柱、円錐)を描く	明度の違いは、光源との距離と光源に対する面の傾きによって決まる事を理解する			
4回	校内写生(雨天順延)	構図に注意し、遠近感を出すことに考慮する			
5回	物を持つ手を描く	形態の把握と質感の違いを理解し、表現に結びつける			
6回	ピンを描く	透明感のある物の描き方を習得する			
7回	静物デッサン(1)	構図と質感を考慮して描写する			
8回	静物デッサン(2)	空間の認知			
9回	石膏像デッサン(1)	基本的な石膏像デッサンのプロセスを理解する			
10回	石膏像デッサン(2)	質感、量感、明度などに注意し、存在感のある作品に仕上げる			
11回	靴を描く	形態の把握と質感の描写			
12回	想定デッサン(室内、窓の景色)(1)	遠近法、透視図法を理解する			
13回	想定デッサン(室内、窓の景色)(2)	遠近法、透視図法を活用して自分の思い描くイメージをより具現化する			

14回	写真を見て人物を描く	陰影のつけ方などリアルな描写の仕方を理解する
15回	人物スケッチ、クロッキー	人体のプロポーションを理解する